



入場無料

原子衝突学会第2回公開講座

宇宙における分子の進化と氷の役割

9月10日(日) 午前10時~12時

上智大学 四谷キャンパス 2号館2-309教室

恒星や惑星は、分子雲と呼ばれる -236°C の
非常に冷たい宇宙空間で誕生します。

我々の住む地球や太陽も分子雲から誕生したのです。

分子雲は真っ暗で無の世界のように見えます。

しかし、実際は複雑な有機分子を含む140種類以上の分子と
ごく小さな氷微粒子が存在しています。

分子は、極低温の分子雲内部で徐々に複雑化し、
星へと進化したと考えられています。

極低温の環境下で分子はどのように進化をしていったのか？
それは、分子と共存する氷微粒子の存在に秘密が隠されているのです。



講師紹介

渡部直樹: 北海道大学 低温科学研究所 教授

今回の講座では、はるか彼方の分子雲の内部がどのように観測されたか、
分子の進化と氷微粒子の関係、分子雲と太陽系の関係などについて、わ
かりやすく解説します。

◆上智大学理工学部の紹介および研究室見学を同時開催(高校生限定:要予約)

お申込み、お問い合わせ

✉ koho@kokusaibunken.jp

原子衝突学会 広報渉外担当
酒井康弘(東邦大学)

当日受け付けも可能ですが、研究室見学をご希望の方は、
あらかじめ、お名前、学校名、人数をお知らせください。



主催: 原子衝突学会
共催: 上智大学理工学部
物質生命理工学科